

令和3年度宇都宮市の予算

「スーパースマートシティの実現」を目指して

子どもから高齢者まで誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望をかなえることができるまち「スーパースマートシティ」の実現に向け、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と、社会・経済活動の両立に最優先で取り組みます。「第6次宇都宮市総合計画」に掲げた6つの「未来都市」の具現化や、まちづくりの基盤となるNCC^{※1}形成の推進、子育てや教育・福祉など、あらゆる分野における先進技術の利活用の推進に取り組みます。

問 財政課 ☎(632)2063

子育て・教育の未来都市

子育て分野

- 結婚・妊娠・出産の希望をかなえる支援 (9億1,331万円)
 - ▼ 結婚新生活に伴う住宅費用や引っ越し費用を助成。
 - ▼ 妊産婦医療費助成の自己負担の廃止。
 - ▼ 多胎妊婦の妊婦健康診査助成回数の拡大。
- 子育て環境の充実 (221億4,045万円)
 - ▼ 保育所・認定こども園などへの給付、整備などへの助成。
- 子育て支援の充実 (61億5,697万円)
 - ▼ 高校3年生相当(18歳到達後最初の年度末)までこども医療費の助成対象を拡大。
 - ▼ 養育費の確保を図るための公正証書作成などひとり親家庭への支援の実施。
- 子ども・若者の健全育成支援の充実 (2億1,754万円)
 - ▼ ゆうあいひろばの遊具更新・新設。



教育分野

- 確かな学力を育む教育の推進 (14億3,906万円)
 - ▼ 中学校での「宇都宮学」の授業の実施。
 - ▼ AI型学習ドリルソフトを活用したモデル事業の実施、タブレット端末・モバイルルータを活用した家庭学習の実施などICT活用授業の推進。
- 教育環境の充実 (20億2,672万円)
 - ▼ 小学校・中学校体育館への空調機器の導入(小学校は令和4年度設置)。
- スポーツ活動の推進 (20億3,387万円)
 - ▼ 2022年いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の競技別リハーサル大会の実施。



新型コロナウイルス感染症対策 (128億9,225万円)



■ 感染拡大防止のための取り組み

- ▼ ワクチン接種体制の確保。
- ▼ コールセンターの運営。
- ▼ PCR検査センターの運営。
- ▼ 検査費用・入院医療費の公費負担。
- ▼ 市有施設の感染予防対策の実施。
- ▼ イベントなどにおける感染予防対策の実施。



■ 市民生活を守るための取り組み

- ▼ 生活困窮者の自立に向けた相談支援の実施。
- ▼ 住居確保給付金の支給。
- ▼ 路線バスの運行便数の確保。
- ▼ 公共交通の感染防止対策への支援。
- ▼ 就学援助の実施。
- ▼ 市営住宅の一時提供。



■ 事業活動のための支援

- ▼ 中小企業への資金支援の実施。
- ▼ 新型コロナウイルス感染症対策特別資金借換資金の創設。
- ▼ ビジネスに係るPCR等検査費用の助成。
- ▼ 企業などのシェアオフィス使用料への助成。

※1 NCC ネットワーク型コンパクトシティの略。中心市街地やそれぞれの地域拠点、産業拠点、観光拠点にまちの機能を集約し、それらの拠点が利便性の高い公共交通などで連携した都市のこと。

令和3年度 一般会計当初予算の 主な事業

特集
③

令和3年度予算は3月議会を経て成立します。掲載する予算などについては、変動することがあります。

先進技術の利活用

- 地域社会のデジタル化の推進(1億4,298万円)
 - ▼ ビッグデータの利活用促進に向けたデータプラットフォームの実証。
 - ▼ 行政データを公開・提供するオープンデータ専用ウェブサイトの構築。
 - ▼ デジタルマップの導入による観光周遊の促進。
 - ▼ ジャパンカップや3人制バスケットボールスリーエックススリー 3 x 3 における5Gを活用した映像配信。
 - ▼ スマート農業の促進に向けたICT機器の導入の支援。
- 市民サービスの提供におけるICT化(14億8,830万円)
 - ▼ 市税納付などにおけるキャッシュレス決済の実施。



- ▼ 市民課窓口の待ち状況の配信。
- ▼ 行政手続きのオンライン化の推進。
- ▼ マイナンバーカードの図書館利用への対応。
- 行政の業務効率化のためのICT化(7億1,606万円)
 - ▼ AI自動応答サービスとRPA(※2)の導入業務の拡充。
 - ▼ テレワークなどの実現に向けた庁内情報ネットワークの調査・設計の実施。
 - ▼ タブレット端末による保健福祉拠点の連携強化。
 - ▼ モバイルワークの試行導入。

健康・福祉の未来都市

健康分野

- からだとこころの健康づくりの推進(61億2,079万円)
 - ▼ AIを活用した特定健康診査未受診者への受診勧奨の実施。
 - ▼ 集団健診の予約受付システムの更新。
- 地域における健康づくりの充実(1億1,493万円)
 - ▼ 健康ポイント事業の実施。
 - ▼ 高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施。



福祉分野

- 地域で安心して暮らせる環境の充実(9億800万円)
 - ▼ 地域密着型サービス事業所などの整備促進。
 - ▼ 高齢者外出支援事業の助成の拡充。
 - ▼ 重度障がい者の就労時の介助などへの支援、タクシー料金助成の拡充。
- 地域包括ケアシステムの深化・推進(5,170万円)
 - ▼ 医療・介護連携支援センターの運営など、地域療養支援体制の推進。
 - ▼ 図書館などにおける「もの忘れ相談会」の開催など、認知症対策の推進。



魅力創造・交流の未来都市

■東京圏からの移住・定住、企業誘致などの促進 (1億7,757万円)

- ▼SNS広告などによる移住に興味・関心のある人への効果的な情報発信の実施。
- ▼テレワークと余暇活動を体験する「みやテレワーケーション事業」の実施。
- ▼東京圏における交流・活動拠点「宇都宮サテライトオフィス」の運営。
- ▼東京圏から本市への移住に対する支援の拡充。

■大谷地域の振興(5億3,470万円)

- ▼旧大谷公会堂を活用した観光周遊拠点施設の整備。
- ▼交通環境向上に向けた観光交通社会実験の実施。



■魅力ある観光と交流の促進 (5億6,948万円)

- ▼ジャパンカップサイクルロードレースの開催。

- ▼スリーエックススリー
3 x 3の国際大会
「FIBA 3x3 ワールドツアー うつのみや」の開催。



- ▼プロスポーツチームと連携した本市観光情報などの発信。

- ▼MICE^{※1}誘致の推進。

■中心市街地の活性化(5,153万円)

- ▼道路空間を活用したエリアマネジメント社会実験の実施。

- ▼河川などの公共空間を活用した「KAMAGAWA YARD」の本格実施。



■文化の創造・活用の推進 (1億8,907万円)

- ▼みや遺産制度による歴史文化資源の活用。
- ▼市指定民俗文化財収蔵庫新設への支援。
- ▼宇都宮美術館の空調設備改修、照明LED化などの整備の実施。

安全・安心の未来都市

安心分野

■地域の安全対策の推進(3億9,914万円)

- ▼自治会などによるLED防犯灯設置への助成の拡充。
- ▼道路に面する民有地のブロック塀などの撤去、新設費用の助成。

■災害対応力の強化(33億7,409万円)

- ▼被災・り災情報を一元管理する被災者台帳管理システムの導入。
- ▼消防活動へのドローンの活用。

■愛護動物の適正管理(8,522万円)

- ▼動物愛護管理施設の改修工事。

■総合的な治水・雨水対策 (23億5,450万円)



- ▼河川の堆積土砂の除去。

- ▼田んぼダムの普及促進(田川・姿川流域)。

- ▼特定農業用ため池の豪雨・地震への耐性評価の実施。



- ▼内水ハザードマップの作成・配布。

- ▼自主防災活動、災害時要援護者支援への補償制度の導入。

協働・共生分野

■協働によるまちづくりの推進(2億1,336万円)

- ▼魅力ある自治会づくりの取り組みへの支援。
- ▼市民活動助成事業のスタート支援の拡充。

■女性の活躍推進(2,149万円)

- ▼大学生などを対象としたオンラインインターシップの実施。

■国際化の推進(344万円)

- ▼オーランド市姉妹都市提携40周年記念事業の実施。

※1 MICE=Meeting (ミーティング 企業などの会議)、Incentive Travel (インセンティブ トラベル 企業などの行う報酬・研修旅行)、Convention (コンベンション 国際会議)、Exhibition/Event (エキシビション/イベント 展示会・見本市、イベント)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

交通の未来都市

都市空間分野

■都市拠点・地域拠点の形成(54億9,630万円)



- ▼ JR宇都宮駅東口地区の交流拠点施設・交流広場などの整備の推進。
- ▼ JR宇都宮駅西口南地区市街地再開発事業への支援。
- ▼ 都心部における交通まちづくりプランの策定。
- ▼ LRT沿線のまちづくり方策の検討。

■拠点化の促進(11億2,594万円)

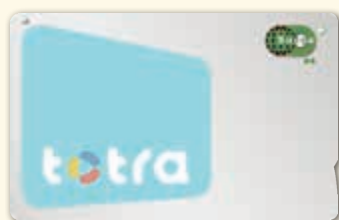
- ▼ 大谷石建築物の保全・活用への支援。
- ▼ 木造住宅耐震診断補助制度の拡充。
- ▼ 空き家再生支援事業補助制度の拡充。

交通分野

■公共交通ネットワークの構築(207億5,528万円)

- ▼ JR宇都宮駅東側のLRTの推進。
- ▼ JR宇都宮駅西側におけるLRT事業化の推進。

▼ 交通系ICカード「totra」の導入と併せたバスの上限運賃制度の導入。



▼ 地域内交通への「totra」導入に向けた機器の開発。

▼ 市街地部における地域内交通の導入支援。

■道路ネットワークの構築(22億3,117万円)

- ▼ 埴田平出線など4路線の都市計画道路の整備。
- ▼ (仮称)大谷スマートインターチェンジの整備。

産業・環境の未来都市

産業分野

■雇用支援の充実(3,737万円)

▼ 県外に進学した学生の保護者を対象とした市内就職促進セミナーの開催。

■スマートシティの推進(9,294万円)

▼ スマートシティの実現に向けた実証実験への支援。

▼ 地域情報化に向けた市民や企業などの「交流・連携・発信の場」の創設。



■市場機能の充実(22億8,811万円)

▼ 中央卸売市場の再整備事業の実施。

農業分野

■農業の生産力の向上(9億9,476万円)



▼ 農業経営の継承・発展の取り組みへの支援の実施。

▼ 新規就農者に対する支援の拡充。

▼ 麦等乾燥調製施設整備への支援。

▼ 赤川ダムの長寿命化・防災減災工事の実施。

▼ 牛伝染性リンパ腫への検査への助成。

環境分野

■SDGs未来都市の推進(150万円)

■低炭素化の促進(1億3,638万円)

▼ 再生可能エネルギーの地産地消を推進する地域新電力会社の設立。

▼ 家庭向け低炭素化普及促進補助制度の拡充。

■ごみの減量化・資源化の推進(4,825万円)

▼ 資源物集団回収への支援。

■良好な生活環境の確保(4,683万円)

▼ 大気汚染防止法の改正に伴うアスベスト飛散防止に係る検査体制の強化。